

アルメタックス株式会社

第54期

株主の皆様へ
(事業のご報告)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで



株主の皆様へ



取締役会長
平林 文明



代表取締役社長兼社長執行役員
小原 肇

Index

page 1 株主の皆様へ

4 業績の推移

5 決算事項

7 Topics

9 株式の状況

10 会社の状況

株主の皆様におかれましては、平素は当社事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第54期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の事業のご報告を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

■経営成績及び財政状態

経営成績

当期のわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境に改善傾向が見受けられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、世界経済の減速懸念や金融市場の変動など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方、当期の国内住宅建材市場は、低水準にある住宅ローン金利や政府による住宅取得促進政策の実施にもかかわらず、新設住宅着工戸数は低調となり、緩やかな減少傾向で推移いたしました。

そのような状況のなか、当社の主力製品である新設戸建用住宅建材の受注については、大型特殊窓の増加等により、底堅く推移いたしました。しかしながら、利益面では、将来を見据えて行った関東工場への省人化生産設備の導入、滋賀工場への大型断熱性能試験装置の導入等による固定費の増加や、新製品生産立上げ時の原価上昇等が大きく影響いたしました。また、当期純利益につきましては、特別損失として製品保証引当金を計上したことも影響いたしました。

その結果、売上高は、117億7千9百万円(前年同期比2.4%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は2億8千5百万円(前年同期比35.9%減)、経常利益は3億8千1百万円(前年同期比27.2%減)、当期純利益は1億8千万円(前年同期比48.8%減)となりました。

財政状態

資産合計は、前事業年度末に比べて1億9百万円増加し、118億1千3百万円となりました。

これは、主に大型断熱性能試験装置や省人化生産設備の導入等により有形固定資産の機械及び装置(純額)が2億5千4百万円増加したこと、市場価額が上昇したことにより投資有価証券及び関係会社株式の当期末の評価が合わせて1億5千3百万円増加したこと、現金及び預金が2億2千万円、受取手形及び売掛金(電子記録債権含む)が9千5百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて4千7百万円減少し、25億4千7百万円となりました。

これは、主に、製品保証引当金が1億2百万円増加したこと、未払金が6千6百万円、未払法人税等が1億5百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億5千7百万円増加し、92億6千5百万円となりました。

これは、主に当期純利益1億8千万円の計上による増加、平成29年6月29日の第53期定時株主総会決議に基づく期末配当金及び平成29年11月8日の取締役会決議に基づく第54期中間配当金、合わせて1億2千3百万円を支払ったことによる減少、その他有価証券評価差額金が1億円増加したこと等によるものであります。

次期の見通し

売上高	115億円
営業利益	2億1千5百万円
経常利益	3億5百万円
当期純利益	2億円

当期・次期の配当

当期の1株当たりの配当金につきましては、諸般の情勢を勘案し、慎重に検討いたしました結果、年間12円(中間配当6円、期末配当6円)とさせていただきますことといたしました。

次期の配当金につきましては、年間12円(中間配当6円、期末配当6円)を予定いたしております。

株主の皆様におかれましては、引続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■経営方針

会社の経営の基本方針

当社は、「健康」「快適」「環境共生」をキーワードに、高品質の住まいづくりに寄与し、創造性豊かな住宅建材製品を市場に提供することを通じて、創業以来CS(お客様満足度)の向上を基本として経営を進めてまいりました。

今後ともお客様の満足を通じて事業の成長と企業価値の最大化を目指すとともに、CSR(企業の社会的責任)を前面に掲げ、株主の皆様やお客様の期待に応えるとともに、地域社会や地球環境に貢献できることを基本理念に取り組んでまいります。

会社の利益配分に関する基本方針

当社は、一貫して株主の皆様への利益還元を最も重要な経営課題のひとつとして位置付けております。配当につきましては安定配当を基本とし、業績に応じた配当政策を実施してまいります。

また、内部留保資金につきましては、経営体質の一層の強化並びに将来の事業展開に充当する方針です。

中長期的な会社の経営戦略

当社は先般、平成33年3月期を最終年度とし、売上高120億円・営業利益率5%の達成を目指す3か年の中期経営計画を発表いたしました。

営業戦略では、当社コア製品であるプレハブ住宅向け建材の販売を堅持し、高性能窓・大開口窓の開発により、1棟当たりの売上金額の増加を図るほか、新規取引先の獲得や当社オリジナルの高付加価値製品の開発も進めます。

製造戦略では、昨秋約3億円を投資した省人化生産ラインの導入経験をもとに、さらなる省人化により業務の効率化を進めます。3か年で7億円程度の投資を検討しております。

情報処理戦略では、製品の企画から製造・保守・廃棄までのライフサイクル全般にわたる情報の一元化を図るべく、PLMシステムの導入を進めます。情報処理の効率化により、間接部門の

省人化、生産性・品質の向上が可能となります。

財務戦略では、借入金等の有利子負債を生じさせることなく、安定的な現預金による設備投資や新製品開発等への積極的な投資を行います。

会社の対処すべき課題

住宅建材産業を取り巻く環境は、社会構造の変化、新築住宅市場の縮小などで競争が激化するなど大きな変革の時期を迎えています。このような事業環境の変化に対応し、新たな成長を遂げるために、引続きお客様指向の新製品開発による受注の拡大を図るとともに、販売体制の充実、コスト構造の改革に抜本的に取り組んで経営体質の強化と業績の向上に努めてまいります。

環境に関する方針

当社は全ての事業活動において、環境共生活動を経営の重要課題として認識し、全社をあげて地球環境の保全に積極的に取り組んでおります。基本姿勢として、

- (1) 全ての事業活動において法規制及び自ら同意したその他の要求事項を遵守し、よりよい環境保全の維持向上と汚染の予防に努めます。
- (2) 全社をあげて環境負荷低減に配慮した活動を行うため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行うとともに、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・リサイクルにかかわる目標を設定し、継続的な改善活動に積極的に取り組みます。
- (3) 企画、開発・設計、購買、生産、物流、使用、廃棄に至る製品の全ての段階にわたり環境に配慮し、的確に対応します。
- (4) 環境教育、社内広報活動を通じて、全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを周知徹底するとともに、社会や地域との連携を密にして環境保全活動にかかわる情報開示を行い、一人一人が、自ら環境保全活動を遂行できるよう、啓発と支援を行います。

業績の推移

	第50期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	第51期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	第52期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	第53期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	第54期(当期) 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高(千円)	11,455,360	9,841,685	11,561,721	12,064,153	11,779,987
営業利益(千円)	577,237	235,914	392,654	445,569	285,694
経常利益(千円)	622,249	313,174	463,309	523,772	381,557
当期純利益(千円)	377,471	198,750	305,187	352,271	180,211
1株当たり当期純利益(円)	36.60	19.29	29.61	34.18	17.49
総資産(千円)	10,303,336	10,659,170	11,060,337	11,704,244	11,813,804
純資産(千円)	8,137,659	8,506,554	8,731,595	9,108,800	9,265,894
1株当たり純資産(円)	789.62	825.41	847.25	883.89	899.14
従業員数(名)	441	434	420	410	409

(注)1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数に基づき、1株当たり純資産は期末発行済株式総数に基づき、算出しております。

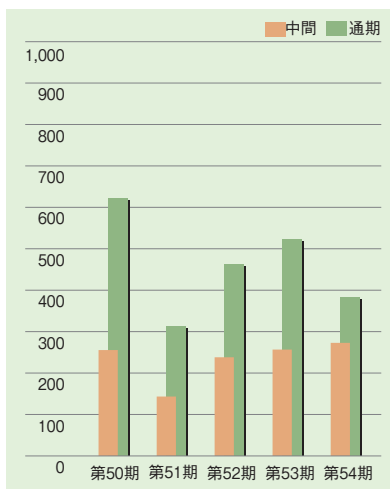
売上高

(単位:百万円)



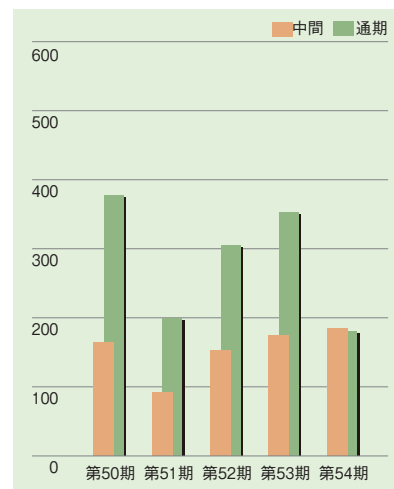
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



■決算事項

貸借対照表(要約)

●資産の部

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日現在)	当事業年度 (平成30年3月31日現在)
流動資産	6,044,426	5,724,044
現金及び預金	1,516,908	1,296,648
受取手形(電子記録債権含む)及び売掛金	3,634,926	3,539,450
たな卸資産	650,088	647,394
その他	245,592	243,559
貸倒引当金	△ 3,089	△ 3,008
固定資産	5,659,817	6,089,760
有形固定資産	3,091,774	3,345,343
建物	986,147	963,969
土地	1,494,526	1,494,526
その他	611,099	886,847
無形固定資産	29,001	52,413
投資その他の資産	2,539,042	2,692,003
投資有価証券	1,426,299	1,511,108
関係会社株式	991,411	1,060,568
その他	129,479	128,474
貸倒引当金	△ 8,148	△ 8,148
資産合計	11,704,244	11,813,804

●負債の部

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日現在)	当事業年度 (平成30年3月31日現在)
流動負債	2,005,056	1,890,682
支払手形及び買掛金	1,262,367	1,270,909
未払法人税等	149,612	44,015
賞与引当金	153,200	148,000
製品保証引当金	—	102,664
その他	439,876	325,092
固定負債	590,387	657,227
長期未払金	2,519	2,500
退職給付引当金	110,499	142,518
その他	477,368	512,208
負債合計	2,595,443	2,547,910

●純資産の部

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日現在)	当事業年度 (平成30年3月31日現在)
株主資本		
資本金	2,160,418	2,160,418
資本剰余金	2,584,575	2,584,575
利益剰余金	3,981,903	4,038,449
自己株式	△ 399,042	△ 399,079
株主資本合計	8,327,855	8,384,364
評価・換算差額等	780,944	881,529
その他有価証券評価差額金	860,958	961,543
土地再評価差額金	△ 80,013	△ 80,013
純資産合計	9,108,800	9,265,894
負債・純資産合計	11,704,244	11,813,804

損益計算書(要約)

(単位:千円)

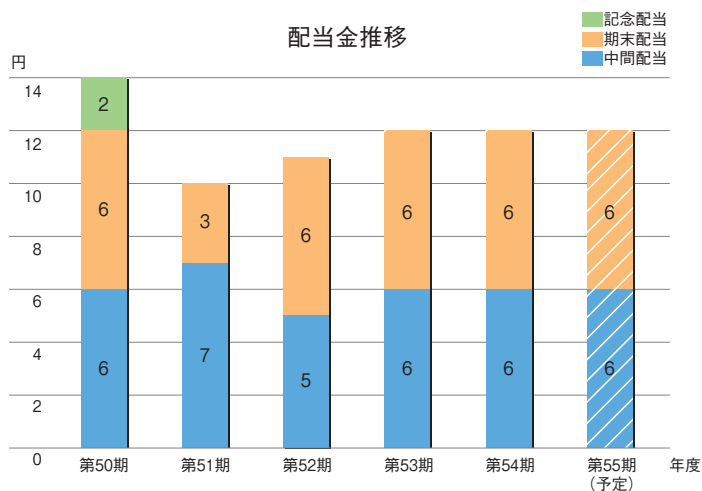
	前事業年度 (自:平成28年4月1日 至:平成29年3月31日)	当事業年度 (自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日)
売上高	12,064,153	11,779,987
売上原価	9,765,146	9,628,132
販売費及び一般管理費	1,853,437	1,866,160
営業利益	445,569	285,694
営業外収益	79,912	97,625
営業外費用	1,709	1,763
経常利益	523,772	381,557
特別利益	299	—
特別損失	2,874	103,234
税引前当期純利益	521,197	278,322
法人税、住民税及び事業税	198,900	118,100
法人税等調整額	△ 29,973	△ 19,988
当期純利益	352,271	180,211

キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

	前事業年度 (自:平成28年4月1日 至:平成29年3月31日)	当事業年度 (自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	660,495	461,510
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 284,192	△ 556,714
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 127,763	△ 125,055
現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	248,539	△ 220,259
現金及び現金同等物の 期首残高	1,268,368	1,516,908
現金及び現金同等物の 期末残高	1,516,908	1,296,648

配当金推移



Topics

個性豊かな窓。 住宅との調和。 暮らしの可能性が広がります。

アイデアとデザイン、そして環境共生を加えた機能的なアルミニウム建材製品。
これからも「今までになかった」をコンセプトに新たな製品を提供し続けます。



樹脂・アルミフリップウインドー



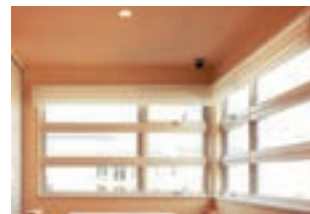
樹脂・アルミ
スーパーディープサッシ



樹脂・アルミスイングfサッシ



樹脂・アルミたてすべり出し連続窓



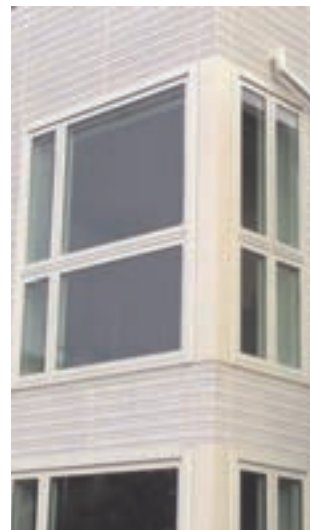
樹脂・アルミヴィスタビューサッシ



樹脂・アルミたてすべり出しFix窓



アンティーク室内建具



樹脂・アルミスイングFixサッシ
コーナータイプ

新規導入設備をご紹介します。

●高断熱サッシ省人化生産ライン

関東工場に、従来の6割の人員で生産できる、省人化生産ラインを導入し、2017年10月から運用を開始しました。このラインは、ラインコンベアによる自動搬送機構や、自動組立機、誘導装置等を取り入れた新方式の生産ラインとなっています。

部材・部品の準備から、加工、部品付け、組立・検査までを一気通貫で行うことにより、仕掛品を作らず、生産リードタイムを大幅に削減しました。さらに、加工や組立工程を自動化することで、確実な作業が可能です。



●大型断熱性能試験装置

2017年9月、滋賀工場に、従来の1.5倍の大きさのサッシの試験が可能な、大型断熱性能試験装置を導入しました。測定精度は従来の試験装置の2倍、従来の4分の1の時間で設定温度に到達します。また、天井部にスライド式開口扉を設置し、試験体のクレーンによる脱着が可能となっています。

試験装置の導入により、社内で迅速に断熱性能を検証できることは、製品開発力の向上に大きく寄与するものです。

■株式の状況

●株式の総数

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	11,912,515株

●資本の額

資本金	2,160,418,283円
-----	----------------

●株主 (平成30年3月31日現在)


株主数	2,469名
-----	--------

●大株主 (上位10位)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
積水ハウス株式会社	3,740,447	36.30
積水化学工業株式会社	703,910	6.83
アルメタックス従業員持株会	458,186	4.45
遠山 和子	251,000	2.44
鈴木 信幸	160,000	1.55
株式会社みずほ銀行	121,583	1.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	121,574	1.18
石川 晋	114,000	1.11
カネエム工業株式会社	100,000	0.97
第一生命保険株式会社	100,000	0.97

- (注) 1. 所有比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記のほか、当社所有の自己株式1,607,192株
(発行済株式総数に対する所有株式数の割合13.49%)があります。

●株主メモ

上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	5928
単元株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	電子公告とし当社ホームページ(http://www.almetax.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031

■株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

■会社の状況

●取締役並びに執行役員（平成30年6月28日現在）

取締役会長	平林文明
代表取締役社長兼社長執行役員	小原肇
取締役（社外取締役）	金升卓
取締役（社外取締役）	濱岡峰也
取締役兼専務執行役員（生産部門担当）	矢田肇
取締役兼専務執行役員（建材営業部門担当兼建材第一営業部長）	村治俊哉
取締役兼常務執行役員（管理部長）	清家由和
取締役兼常務執行役員（経理部長）	生川聖一
常務執行役員（建材第二営業部長）	曾根和幸
執行役員（生産管理部長）	伊室芳嗣
執行役員（大阪設計部長）	中西昭夫
執行役員（滋賀工場長）	山元秀和
執行役員（東京設計部長）	中川智二
執行役員（総務部長）	安藤勇二

●監査役（平成30年6月28日現在）

常勤監査役	松原泰稚
監査役（社外監査役）	濱部祐一
監査役（社外監査役）	田中善秀

●会社の概況

商号	アルメタックス株式会社
設立	昭和44年11月
事業内容	住宅用建材の製造・販売
ホームページ	http://www.almetax.co.jp/
本社	〒531-6120 大阪市北区大淀中1丁目1番30号 （梅田スカイビルタワーウエスト20階） TEL(06)6440-3838
東京支店	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 （西新宿KFビル4階） TEL(03)5330-3181

●主要工場

滋賀工場
滋賀県栗東市
下鈎字富寿959-6
TEL(077)552-3181



関東工場
茨城県古河市丘里15-1
TEL(0280)98-1231



山口工場
山口県山口市
鑄銭司字上竜山3694
TEL(083)986-3737



静岡工場
静岡県掛川市大坂4214-2
TEL(0537)72-6730



栗東資源循環センター
滋賀県栗東市
六地蔵145-19
TEL(077)552-3565



東北センター
宮城県加美郡色麻町
大原217-14
連絡先（関東工場）
TEL(0280)98-1231





アルメタックス株式会社

本 社 〒531-6120 大阪市北区大淀中1丁目1番30号(梅田スカイビル タワーウエスト20階) TEL(06)6440-3838
東京支店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号(西新宿KFビル4階) TEL(03)5330-3181



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。